

項目		説明
試料・情報の利用 目的及び 利用方法	研究課題名	I期食道癌に対するハイブリッドVMATの線量分布に関する研究
	研究目的	放射線治療はI期食道癌に対する根治的治療のひとつであり、良好な治療成績が報告されています。放射線治療により長期生存が得られるようになると、治療後の心臓や肺への毒性が問題となることがあります。これらの正常な臓器への影響を低減するために、強度変調放射線治療や粒子線治療などの放射線治療技術が開発されてきました。 当院で実施している回転型強度変調放射線治療(VMAT)では、腫瘍に対して線量を集中して照射が可能ですが、周囲の正常臓器には広く低線量が照射されます。この欠点を補うため、通常の3次元原体照射とVMATを同時に組み合わせたハイブリッドVMAT法が開発、報告されてきました。しかしながら、ハイブリッドVMATにおいて、どの程度の割合で3次元原体照射とVMATを組み合わせるべきかを検討した研究はこれまでありません。 そこで、当センターで過去にI期食道癌で放射線治療を行った患者さんのデータを基に、ハイブリッドVMATの仮想の治療計画を作成して、3次元原体照射とVMATの割合を変化させ線量分布を比較検討し、至適な照射方法について定量的に解析します。
	研究対象者	2014年1月から2019年4月までに当院で放射線治療を開始したI期食道癌の患者さんのうち腫瘍の部位別に直近の5名ずつを対象とします。
	研究期間	西暦 2021年1月25日～西暦 2021年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(放射線治療計画データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理 についての 責任者	当センター 研究責任者	高草木 陽介
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	とくに共同研究機関はありません。